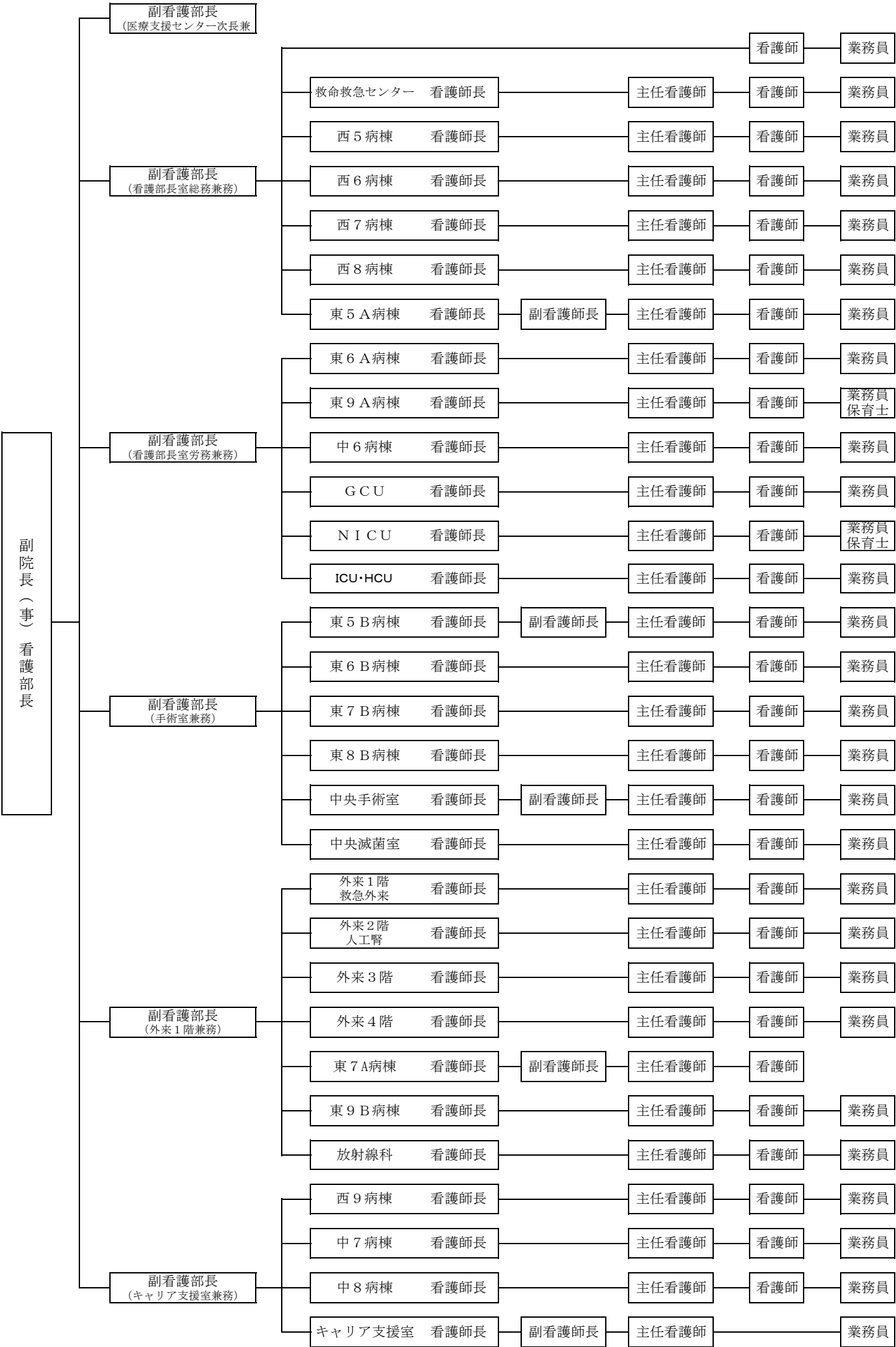


2025年度 看護部組織図

2025年4月1日



基本理念・看護部の理念

【基本理念】

患者さんと協働して、心のこもった安全で質の高い医療を行います。

【基本理念実現のための3つの柱】

1. チーム医療を推進し、信頼され満足される医療を行います。
2. 地域医療機関との連携のもとに、救急医療と高度で専門的な医療を行います。
3. 健全な病院経営を行うとともに、すぐれた医療人の育成に努めます。

【看護部の理念】

私たちは、やさしさと思いやりを大切にした、安心・安全な看護を行います。

【看護部の基本方針】

- 1 患者さんとともに、安心できる安全な療養環境を整えます。
- 2 地域の医療機関と連携し、チーム医療の推進に努めます。
- 3 急性期病院として看護の専門性を高めるとともに、豊かな人間性を兼ね備えた人材育成を行います。
- 4 看護する喜びと誇りを持って働ける職場環境づくりを行います。
- 5 ムリ・ムダ・ムラをなくし、健全な病院運営に貢献します。

看護部の目標 ①効率化を推進し働き続けられる職場環境を作る ②看護職員の生涯学習を支援しケアの質向上を図る						
取り組みの柱	目標	目標達成のための項目	業績評価指標	2025年度目標値	上半期実績値	2025年度実績値
医療機能の拡充（顧客の視点）	安心・安全な看護の提供	アクシデントの減少	転倒転落発生件数（レベルⅢ b 以上）	12件／年／全体	4件	9件
			薬剤関連事故件数（レベルⅢ b 以上）	10件／年／全体	15件	43件
			情報漏洩事故件数（レベルⅢ b 以上）	25件／年／全体	40件	70件
			* IA事例分析件数（RCA・SELL分析など）	2件以上／年／部署	81%	95%
		医療安全の強化	* 医療安全研修会参加もしくは web閲覧率	100%	97%	必須2回100% 全6回平均93%
		感染対策の強化	* 院内感染のアウトブレイクを起こさせない	0件	1件	1件
			* 感染研修会参加もしくは動画の視聴率・web閲覧率	100%	89. 10%	第1回：99. 9% 第2回：99. 9%
	患者の視点に立った医療・看護の提供	入院・退院支援の強化	* 要支援・要介護認定者の看護情報提供書発行割合	80%以上	93%	95. 20%
			* 退院支援連携に関わる退院前カンファレンスの件数	介護支援等連携カンファレンス（小児含）110件／年	90件	182件/年
			入退院支援加算の算定件数	1, 000件以上／月	1150～1200件/月	14085件/年 月平均1173件
		患者満足度の向上	* 患者満足度調査の結果	85%／全体	97. 0%	看護師 外来77% 入院93. 2%
		意思決定支援の推進	ICテンプレート記入率	100%	100. 0%	100. 00%
		療養環境の整備	* 看護部患者アンケート調査の結果	85%以上	85. 7%	85. 7%
			項目 6. 退院後の生活についての説明をしました	80%以上	82. 6%	82. 6%
運営体制の強化（内部プロセスの視点）	チーム医療における質の高い看護の提供	看護の質改善の取り組み	チーム医療の推進の取り組み件数	5件	8 件	7件
			* 看護補助者と師長・主任を交えたミーティングの実施	1回／2ヶ月	91. 8%	85. 90%
			* 身体抑制早期解除事例の検討	1件以上／年／部署	未達	80%
「安定した経営の維持」（健全な財務の視点）	病院経営への参画	病床の効率的な運用	D P Cの入院期間がⅡ期以内の割合	70%以上	71. 7%	71. 50%
			* 病床利用率（退院患者を含まない）	85%以上／日	75. 9%	76. 70%
			リリーフ体制への参画	延べ300人	59%（176人）	100%（673人）
		急性期一般入院料1の維持	* 重症度、医療・看護必要度Ⅱ（7対1 部署）	①25%以上 ②35%以上	30. 3% 41. 3%	30. 4 41. 3%
		診療材料の適切な運用	* S P Dラベルの紛失率の低減	0. 2以下	0. 11%	0. 135%
医療等を支える人材の確保・育成（学歴と成長の視点）	高い臨床実践能力を備えた人材の育成と確保	看護専門職としてのキャリア発達への支援	* キャリア開発ラダー（ジェネラリストラダー・マネジメントラダー）の目指すレベル評価の実施	1回／人／年	25名	176名
			院内認定看護師資格取得者数（IV・SEK・PCN・リエゾン・排尿ケア・RST）	150名	126名	252名
			* 地域貢献推進事業への参加	1人以上／部署	6名	8名
			学会参加（Web研修含む）	150名	公費45人 睦会6人	公費107 睦会16
		ワーク・エンゲージメントの向上	* ストレスチェック（健康リスク）前期チャレンジ（自分が認められ必要とされている）後期	115以下 3. 3以上	105	3. 2（+0. 9P）
			* コンピテンシーの領域Ⅰ全看護師評価（3項目B以上）	70%以上／全体	96. 485%/92. 667% 94. 03%/96. 273% 91. 879%	98. 2%96. 5% 96. 9%99. 0% 95. 7%
		働き方改革の推進	* 時間外削減（昨年度の10%削減）	月平均5, 383時間以下	4, 286時間	4, 745時間
			変則2交代制導入部署の拡大	5部署	2部署	6部署
			全職員の離職率	5%以下	1. 60%	6%
		人材確保	入職者向けアピール事業実施数と協力部署	5件以上 且つ20部署以上	2件 4部署	実施数 9件 協力部署20部署

1) 継続教育

新人集合教育 企画：キャリア支援室・新人研修委員会 2025 年度

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/4	新規採用職員オリエンテーション	各部門担当者	62
	看護部の理念と組織体制	樽本看護部長	62
	教育体制	上田副看護部長	62
	キャリアファイルの使い方	上田副師長	62
	ワールドカフェ	小川・井出主任	62
	PNS マインド	笠井師長	62
	看護過程と看護記録の基本	記録委員会	62
	セルフマネジメント	中村主任	62
	電子カルテ操作	ラダー1 委員	62
	臨床研修 I ・部署(3 日間)	自部署	62
	血糖測定	テルモ	62
	インスリンの取り扱い	山本主任	62
	麻薬の取り扱い方	赤木薬剤師	62
	医療機器の取り扱い	松本臨床工学技士	62
	口腔ケアと食事介助・義歯の取り扱い	藤田摂食嚥下障害看護 CN	62
	呼吸の援助技術・吸引	アバノス(株) RST 奥野主任看護師	62
	心電図モニター	日本光電	62
	糖尿病看護の基礎	中村糖尿病看護認定看護師	62
	輸液ポンプ・シリンジポンプ取扱い T-Pas(消毒も含む) ・血糖測定	テルモ	62
	静脈注射に関する講義 採血講義	インジェクショントレーナー 宇野師長・宮本感染管理認定看護師	62
	静脈注射・輸液療法に関する講義	貸川集中ケア看護認定看護師・中井薬剤師・ンジェクショントレーナー	62
	酸素療法	上野クリティカルケア看護認定看護師	62
	認知症患者の看護(基礎)	大西認知症看護認定看護師	62
	バイタルサインとフィジカルアセスメント	笠井救急看護認定看護師	62
	社会人基礎力 (コミュニケーション)	尾門主任	62
5	医療安全 IA 報告の書き方	宇野師長	62
	社会人基礎力 (レジリエンス)	井出副師長	62
	看護記録の基本とクリパス・看護診断	看護記録・クリパス委員会	62
	I V ナースレベル 2 研修	薬剤部・インジェクショントレーナー	62
	臨床研修 I ・部門	各部門・部署	58
7	シミュレーション (夜間巡視)	ラダー I 委員	62
	フィジカルアセスメント(意識)	笠井救急認定看護師	62
	フィジカルアセスメント(呼吸、消化器)	貸川集中ケア認定看護師	62
	フィジカルアセスメント(循環)	山崎心不全看護認定看護師	62
	スキンケア	妹尾皮膚排泄ケア CN	62
	臨床判断能力を高める	笠井救急看護認定看護師	62
	看護必要度	看護必要度委員会	62
9	化学療法の基礎 (I V ナースレベル 3)	秋元化学療法看護認定看護師	62
	造影剤の基礎 (I V ナースレベル 3)	井手主任	62
	輸血の基礎 (I V ナースレベル 3)	松田臨床輸血看護師	62

	看護倫理	看護倫理委員会	61
	看取りの看護	大森専門看護師・緩和西本認定看護師	61
	レポートの書き方	ラダーⅠ委員会	61
10	BLS・AED・気管挿管の介助・除細動の取り扱い・ICLS	院内ICLSチーム	59
	臨床研修Ⅱ・ICU3日・救命センター3日間・NICU3日間・外科系病棟3日間	救命センター・ICU・外科系病棟・NICU	60
R8/1	シミュレーション研修Ⅱ	ラダーⅠ委員全員	57
2	ケースレポート発表会	ラダーⅠ委員会	57
3	ワールドカフェ・目標管理	ラダーⅠ委員会	57

グループ研修

〈臨床研修Ⅰ〉

4月 配属部署(3日間) 62名 6月 部門研修 62名

放射線科、医療連携室、手術室、外来部門、薬剤部、臨床検査部、防災センター、CEセンター

〈臨床研修Ⅱ〉

11月～12月 ICU(3日)または救命救急センター(3日間)または、部署別研修2日間

手術室所属：外科病棟 NICU所属：小児病棟 GCU所属：NICU 救命救急センター所属：循環器病

棟

ラダーレベルⅠ取得者教育企画：ラダーⅡ委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/6	3年目急変予測	笠井救急看護認定看護師、板原救急看護認定看護師	51
7	2年目 コミュニケーション研修	小川心理療法士	77
10	看護に活かすリーダーシップ	ラダーⅡ委員会	51
11	地域連携・医療支援	松谷副看護部長	76
12	リフレクション	ラダーⅡ委員会	51
R8/1	フィジカルアセスメント	ラダーⅡ委員会	75
2	キャリアアップ	ラダーⅡ委員会	49
3	2年目 ショックの対応	ラダーⅡ委員会	75

ラダーレベルⅡ取得者教育 企画：ラダーⅢ委員会・看護倫理委員会・キャリア支援室・

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/6	第2回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室・多田羅保健師	32
6	第1回 実習指導者研修	キャリア支援室 8B 重永 佳奈看護師	24
	第1回 指導のスキル研修会「コーチングとフィードバック」講義編	ラダーⅢ委員会	24
7	第2回 指導のスキル研修会「コーチングとフィードバック」実践編	ラダーⅢ(指導者育成)委員会	24
10	第3回 指導のスキル研修会「ファシリテーション」	ラダーⅢ委員会	24
	看護倫理研修	倫理研修委員会	26
	接遇研修	看護の質改善委員会	62
	第3回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	30
	第1回 実習指導者研修	キャリア支援室	21
12	第4回 指導のスキル研修会「フォローアップ研修」	ラダーⅢ委員会	24
R8/2	第4回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	27
	入退院支援	ラダーⅢ委員会	22
3	第1回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	28
	第2回 実習指導者研修会	キャリア支援室 市立看護専門学校看護 宮原先生	21

ラダーレベルⅡ・Ⅲ・Ⅳ取得者教育 企画：PNS委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/6	ラダーⅢチャレンジャーPNSマインド研修	大西 恵子先生	24
9	ラダーⅢ・Ⅳ・Ⅴマインド研修「アサーション」	大西 恵子先生	26

ラダーレベルⅢ取得者教育 企画：ラダーⅣ委員会・RST 部会・看護必要度委員会・看護研究委員会
看護倫理委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/5	第1回 問題解決技法	ラダーⅣ委員会	10
	第1回 RST 研修会 「呼吸器の解剖と生理 基礎編」	RST 部会	55
	研究サポート Ns 研修「文献研究指導のポイント」	看護研究委員会	20
6	第2回 教育担当者研修	キャリア支援室・多田羅保健師	23
	看護研究セミナー「看護研究計画書の書き方」	看護研究委員会	20
	令和6年度看護研究個別指導	看護研究委員会 加藤昭尚先生 杉山 直子先生	14
	第2回 問題解決技法	ラダーⅣ委員会	10
	第2回 RST 研修会「胸部単純写真の読影について」	RST 部会	81
	第3回 RST 研修会「聴診」	RST 部会	14
7	第4回 RST 研修会「体位管理・リハビリテーション」	RST 部会	11
8	第5回 RST 研修会「吸引手技」	RST 部会	12
	看護研究セミナー「論文の書き方」	看護研究委員会 新山主任	20
9	令和6.7年度看護研修個別相談会	杉山 直子、加藤 昭尚	40
	第3回 問題解決技法	ラダーⅣ委員会	10
	第6回 RST 研修会 「人工呼吸を必要とする病態と治療について」	RST 部会	32
10	第7回 RST 研修会「NHFについて」	RST 部会	12
	第3回教育担当者研修	キャリア支援室	23
	第1回 リフレクション (前期開催)	ラダーⅣ委員会	19
11	第2回 リフレクション (前期開催)	ラダーⅣ委員会	19
	第8回 RST 研修会 「人工呼吸器体験・シミュレーション」	RST 部会	12
	第9回 RST 研修会 「人工呼吸器のモードと人工呼吸器装着患者の看護」	RST 部会	12
	看護倫理研修会「意思決定支援について」	大西認知症看護認定看護師、城崎精神科認定看護師	56
12	看護研究 R6 年個別相談会	杉山 直子・加藤 昭尚	22
	第10回 RST 研修会 「血液ガス」	RST 部会	12
	第1回 リフレクション (後期開催)	ラダーⅣ委員会	19
R8/1	問題解決技法 フォローアップ研修	ラダーⅣ委員会	13
2	第2回 リフレクション (後期開催)	ラダーⅣ委員会	19
	第4回 教育担当者研修	キャリア支援室	22
3	第1回 教育担当者研修	キャリア支援室 PNS 委員会「沖村」	22
	第4回 問題解決技法 発表会	ラダーⅣ委員会	10

広島市立病院機構看護職員育成 節目研修

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/5	新師長研修	本部事務局 看護管理担当	5
6	新主任研修 リーダーシップ	有限会社 NTX 野口 和裕先生	12
R8/2	新師長フォローアップ研修	本部事務局 看護管理担当	5
	新主任研修 フォローアップ	本部事務局 看護管理担当	12

主任看護師管理教育：企画 主任研修委員会 看護必要度委員会 キャリア支援室

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/4	クラスⅢ主任研修「コーチング」	大西 恵子先生	16
5	クラスⅠ新任主任オリエンテーション	看護部長・副看護部長	12
6	クラスⅣ主任研修「ファシリテーション」	大西 恵子先生	17
10	クラスⅡ主任研修「目標管理と SWOT 分析①」	田嶺師長・	5

12	4 年目以上主任 アンガーマネジメント	大西 恵子先生	16
2	「目標管理と SWOT 分析②」	主任研修委員会	7
	主任リフレクション	主任研修委員	11
3	クラスⅢ主任研修「部署の課題解決に向けた取り組み」	主任研修委員会	12

師長管理教育：教育委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/4	新師長研修「労務管理」	高魚副看護部長	5
	新師長研修「タイムマネジメント、日当直説明」	新本副看護部長	5
	師長管理研修「看護部ビジョン・看護部委員会等」	榎本副看護部長、新本副看護部長	35
	師長管理研修「移行期の患者・家族対応」「マネジメントラダー改訂について」	瀬良副看護部長・宇野師長	38
	師長補佐研修「看護部ビジョン」「労務管理」「目標管理」	榎本看護部長、新本副看護部長、高魚副看護部長	5
5	師長管理研修「助産師出向報告」「IV ナース更新制度」「夜間アルバイトについて」	助産師、柴田師長・新本副看護部長	37
	師長管理研修「病床管理 EBED システム」	岩本師長	37
6	師長補佐研修「看護倫理」「予算」	中神師長、新田師長	5
	師長管理研修「バイタル連携について」「麻薬の IA について」「リリーフ体制について」	三原師長、宇野師長、松谷次長	35
	師長管理研修「ハラスメント状況と事例検討」「夏期アルバイト」	多田羅保健師・高魚副看護部長・新本副看護部長	38
7	師長補佐研修「タイムマネジメント」「包括ケア」「継続教育」	新本副看護部長・松谷副看護部長・上田副看護部長	5
	師長管理研修「リリーフ体制」「機能評価」	松谷次長・若林副看護部長	38
	師長管理研修「看護協会通常総会の報告」「RST 部会よりリンクナースの病棟での活動について」	泉本師長・高子師長・上田有田師長・奥野主任・貸川主任	38
8	師長管理研修「病床管理」「機能評価について」	松谷次長・若林副看護部長	38
	師長管理研修「外来業務量調査」「研修評価について」「病院機能改善支援セミナー参加報告」	桐山師長・上田・田鍬師長・伊藤都師長	31
9	師長管理研修「入退院支援について」	松谷次長・尾崎師長	30
	師長管理研修「機能評価にむけて」	若林副看護部長・新本副看護部長	31
10	師長補佐研修「「交渉術」「メンタルヘルス」	瀬良副看護部長 多田羅保健師	5
	師長管理研修「交渉術」	瀬良副看護長・植田師長・大西師長	36
	師長管理研修「業務量調査について」「PNS 研修」	看護システム委員会・笠井師長・伊藤な師長	32
11	師長管理研修「経営について」	栗岡企画長・原師長・立山師長	41
	師長管理研修「チャレンジ分析」「病床管理」	松谷次長	39
12	師長管理研修「機能評価にむけて」	若林副看護部長	30
	師長管理研修「師長管理研修「マネジメントリフレクション」「緩和ケア留学」	田鍬師長、柴田師長 石原師長	38
R8/1	師長管理研修「夜間アルバイトの促進」「学会報告」	新本副看護部長、木下主任	38
	師長管理研修「倫理研修」「学会報告」	中神師長・出田師長・伊藤な師長	32
2	師長管理研修「チャレンジ分析結果」「機能評価について」	大西師長・平野師長・三井師長・柴田師長	39
	師長管理研修「看護部の方針が現場に届く組織を作るために」	幹部	39
3	師長管理研修「研修責任者研修を終えて」「新人看護師の進捗」「学会報告」	原師長・宇野師長・有田師長・大西師長・上田副師長	39
	師長管理研修「SWOT から看護部の方針を考える」	松谷次長・上田	39
	各グループが検討した戦略を共有し BSC を完成する」	看護師長全員	39

全看護職員対象教育

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/5	第 1 回医療安全研修会 「転倒転落予防対策」「医療安全総論」「医療安全活動報告」	室長・GRM ・リハビリテーション科	475
	脳卒中研修会	脳卒中中部会	106
6	糖尿病療法指導部会研修会「リブレ 2 について知ろう」	臨床検査技師吉岡麻衣・アボットジャパン	65

	がん薬物療法研修会「がん薬物療法の基本の“き”」	加登岡がん化学療法認定看護師	39
	脳卒中研修会	脳卒中部会	79
7	第1回記録クリパス研修会	看護記録委員会	158
	NST 研修会「栄養管理体制と NST 介入について/経腸栄養剤と栄養について」	西森管理栄養士	31
	第2回医療安全研修会 「麻薬について」「RRS」「医療機器管理」「医療安全活動報告」	赤木薬剤部長・栗原 CE センター技師長	268
8	NST 研修「輸液と栄養について」	本村薬剤師	56
9	第1回スキルアップ研修「モニター心電図の基礎知識」	山崎心不全認知症看護認定看護師	63+98
	がん薬物療法看護研修会「デバイスの取り扱い:ポート針/固定・各種ライン・フローサイン」	加登岡がん化学療法認定看護師	32
10	重症度、医療・看護必要度全体研修	看護必要度委員会	58
	糖尿病療法指導部会研修会「インスリンポンプとカーボカウントについて知ろう」	管理栄養士 渡邊一貴	32
	PNS 全体研修会	田中加代子先生	51
11	第3回医療安全研修会「医療訴訟連絡協議会相互理解プログラム『模擬事例訴訟の進み方』」	広島地方裁判所光岡判事、広島弁護士会岩西弁護士、大元弁護士	125
	がん薬物療法看護研修会「～がん薬物療法後の「食べれない」をどう考える?～有害事象とセルフケア支援」	加登岡がん化学療法認定看護師	29
	第2回スキルアップ研修「敗血症の予兆に気づき早期介入するために」	クリティカルケア認定看護師 上野・平家	41+47
	糖尿病療法指導部会研修会「受けてみよう、糖尿病教室②」	半田管理栄養士、北山歯科衛生士	22
	看護倫理全体研修	大西認知症看護認定看護師・城崎精神科認定看護師	56
	NST 研修会「検査値の見方/亜鉛について（メーカー共同）」	中山検査技師	38
12	第4回医療安全研修会 「医療機器安全管理」「診療用放射線の利用にかかる安全管理のための研修」「放射線検査の医療安全」「医療安全活動報告」	栗原 CE センター技師長、放射線診断科飯田主任部長、渡邊放射線技師 医薬品安全宇野師長	167
	第3回スキルアップ研修「PICS とは」「看取りの看護について」	クリティカルケア認定貸川主任看護師・緩和ケア認定主任角本看護師	41+38
	NST 研修「リハビリと栄養について」	田中理学療法士	31
	糖尿病療法指導部会研修会「糖尿病のスティグマとフレイルについて知ろう」	糖尿病看護認定看護師 中村麻里子	22
R8/1	第5回医療安全研修会 「虐待防止の基本」	健康福祉課 見代・森政・松谷次長・精神科和田	239
	NST 研修「胃瘻について」	外科 桂医師	24
	第2回記録クリパス研修会	看護記録委員会	36
2	がん薬物療法看護研修会「明日からやってみよう!アピアランスケア」	加登岡がん化学療法認定看護師	28
3	第6回医療安全研修会 「医薬品安全管理者研修」「RRS 部会報告」「医療安全活動報告」	中井薬剤師、 医薬品安全管理室	142
	院内看護研究発表会	看護研究委員会 杉山直子先生	83

看護補助者教育

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/6	「組織の理解と業務員の責務」		136
9	「PNS マインド研修」	万徳師長	132
10	「医療安全と守秘義務」	医療安全管理室・宇野師長	142
11	「業務員のできる感染管理」講義	宮本感染管理認定看護師	71
1	「臥床患者の補助」	石橋・妹尾皮膚褥瘡認定看護師	50

介助業務員導入教育

開催月	テーマ	講師	出席数
R7/6	「病院・看護部理念と看護補助者導入の経緯とその役割」「業務員の範囲と教育」	瀬良副看護部長 泉本師長、有田師長、万徳師長	6
12	「病院・看護部理念と看護補助者導入の経緯とその役割」「業務員の範囲と教育」	樽本副看護部長、瀬良副看護部長 万徳師長、泉本師長、有田師長	1

●災害支援ナース登録者

2026 年 3 月 31 日現在

配属部署	人数	配属部署	人数
ICU	1 人	東 8B 病棟	1 人
HCU	1 人	感染管理室	1 人
西 8 病棟	1 人	放射線科	1 人
中 7 病棟	1 人	産後休暇・育児休暇	1 人
東 7B 病棟	1 人		

合計 9 人
(2026.4 12 人)

2) 教育関連講習会受講状況・院内認定・院内資格

●教育関連講習会・研修会受講状況

2026 年 3 月 31 日現在

	修了年	人数	修了年	人数
広島県実習指導者養成講習会	2016 年	1	2021 年	1
	2018 年	1	2022 年	1
	2019 年	1	2023 年	1
	2020 年	1	2024 年	1
			2025 年	1
広島県看護協会研修責任者研修	2015 年	2	2020 年	1
	2016 年	1	2021 年	1
	2017 年	1	2022 年	1
	2018 年	1	2024 年	1
			2025 年	1
広島県看護協会教育担当者研修	2017 年	2	2021 年	3
	2018 年	5	2022 年	1
	2019 年	3	2023 年	1
	2020 年	3	2024 年	2
			2025 年	2
広島県看護協会実地指導者研修	2017 年	2	2021 年	3
	2018 年	2	2022 年	2
	2019 年	2	2023 年	2
	2020 年	3	2024 年	2
			2025 年	2
インジェクショントレーナー 養成プログラム	2016 年	1	2020 年	1
	2017 年	1	2021 年	1
	2018 年	1	2022 年	1
	2019 年	1	2023 年	1
シミュレーションディレクター 養成プログラム	2017 年	4		
	2020 年	6		
日本接遇協会接遇インストラクター 養成コース	2018 年	2	2021 年	2
	2019 年	2	2022 年	1
	2020 年	2		

●6 年間の院内認定者数

(人)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
R S T リンクナース		17	10	15	11	11
SEK		34		16	24	18
緩和ケアナース				10	11	12
リエゾンナース	16	16	17	16	11	
排尿ケア	20	20	17			

●6 年間のジェネラリストラダーラダー認定者数

(人)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
レベル I	74	37	42	100	76	60
レベル II	50	133	34	40	37	51
レベル III	69	46	41	45	37	26
レベル IV	26	21	26	26	19	21
レベル V	1					

●6 年間のマネジメントラダーラダー認定者数

(人)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
レベル I	8	10	11	13	7
レベル II	13	14	7	7	7

レベルⅢ	2	3	2	3	1
レベルⅣ	2	1	5	1	2
レベルⅤ	0	1	2	0	1
レベルⅥ	0	0	0	0	0

●認定看護管理者配置状況 2026 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
認定看護管理者(3)	看護部長室・手術室

●5 年間の認定看護管理者教育課程修了状況 2026 年 3 月 31 日現在

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
サードレベル教育課程	0	1	0	2	0	3
セカンドレベル教育課程	0	3	5	4	5	7
ファーストレベル教育課程	7	11	9	8	8	6

●専門看護師配置状況 2026 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
がん専門看護師(2)	医療支援センター
小児専門看護師(1)	東 9A 病棟

●認定看護師配置状況 2026 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
救急看護(1)	救命救急センター
皮膚・排泄ケア(3)	医療支援センター
集中ケア(1)	集中治療室
クリティカル認定看護師 (2)	集中治療室
緩和ケア(4)	がん相談支援センター・東 6A 病棟
がん化学療法看護(2)	通院治療室、東 7B 病棟
感染管理(3)	感染管理室、滅菌室
糖尿病看護(1)	外来 2 階
新生児集中ケア(1)	NICU
手術看護(3)	手術室、東 7B 病棟、
摂食・嚥下障害看護(2)	中 8、東 9A(小児)、医療支援センター
小児救急看護(3)	東 9A 病棟(小児)、GCU、総務課人事
認知症看護(1)	中 7
精神看護(1)	4 階外来(精神科)
心不全看護(2)	救命救急センター

【がん看護】(仁井山)(大森)		
実践	教育	研究
1. 外来対応 1) 外来(緩和ケア科)での同席・看護実践 2) 緩和ケア面談 [カウンセリング] 浮腫外来・診察同席での看護実践 3) がん相談支援センターでのがん相談 (電話相談・直接面談) 2. 入院対応 1) 病棟での同席 2) 看護実践 (緩和ケア面談・浮腫に対する支援) 3) カンファレンスの実施 3. 意思決定支援・IC 同席 1) がん患者指導管理料イ算定 2) がん患者指導管理料ロ算定	【院内】 1. ふれあい看護体験 講師 (大森・仁井山) 2. 緩和ケアリンクナース研修 (6・10・2 月の 3 回/年) 企画・運営 3. 院内認定緩和ケアナース育成コース研修 企画・運営 4. 院内認定緩和ケアナース フォローアップ 研修企画・運営 5. 新人研修 講師「ACP について」(仁井山)「死のシミュレーション」(大森) 【院外】 1. 2025/2/14 阪神 5 大学サステナブルがん人材養成プラン がんプロセミナー 中外	1. 2025/5/24-25 日本死の臨床研究会 中国・四国支部大会 口演 (主・共同研究) 発表 (大森・仁井山) ・乳癌初期治療中に自死した A 氏の事例から考えるケア (大森・仁井山) ・がん患者へのシームレスな療養に移行するための支援 (仁井山・大森) 2. 2025/9/12-14 日本看護学会学術集会 口演共同研究発表 (仁井山) ・看護研究に対する取組への困難感と求められる支援 3. 2026/2/21-22 日本がん看護学会 口

3) リンパ浮腫指導管理料	製薬 ACP とスピリチュアルペイン (仁井山) 2. 2025/6/28 第7回乳がんチーム医療研究会 in 瀬戸内 中四国世話人会 (仁井山・大森)	演共同研究発表 (仁井山) ・舌癌患者の意思決定支援を通し外来看護師の役割を考察した1事例 4. 2025/6/28 第7回乳がんチーム医療研究会 in 瀬戸内 口演主・共同研究発表 (大森・仁井山) ・乳がん初期治療中に自死したA氏の事例から考えるケア (大森・仁井山)
相談	調整	倫理調整
1. がん相談 (直接面談・電話相談) 2. がんカウンセリング 3. 病棟・外来看護師からの相談 (緩和ケアについて・患者・家族のケアについて、IC 同席依頼、研究相談) 4. 部署の勉強会や研修、カンファレンスの相談	1. 医療者間の調整 2. 介入困難事例の調整・介入 3. 外来での同席時に必要な部署へ調整・情報提供	1. 治療方針に関する意思決定 2. 倫理カンファレンス・病棟カンファレンスへの参加 3. 事例検討会の実施・参加 4. 倫理事例についての相談・レポート添削 5. IC 同席
【実践報告】 外来では医師と協働し、診察の場に同席し意思決定支援を中心に実践した。病棟では、緩和ケアチームの看護師として、全人的な視点から苦痛を捉え、プライマリーチームと連携・協働しながら実践を行った。また、終末期のせん妄や疼痛・便秘・悪心等の症状緩和について学びを深め、実践に役立てるように取り組んだ。教育では、院内の新人教育・院内認定看護師の育成に携わった。研究については、積極的に取り組んでいる。2026年1月から倫理コンサルテーションチームが発足した。倫理的課題について検討が必要な場面で Jonsen の4分割を活用しホワイトボードを用いてファシリテーターとして倫理的に意思決定ができるよう取り組んでいる。		
【小児看護】 (斉藤)		
実践	教育	研究
*以下すべて児・家族ともに介入 ・病状説明介入 ・医療的ケア導入時の支援 ・入院・病状による精神的不安に対処介入 ・治療、在宅移行についての意思決定支援 ・養育困難事例への育児支援 ・小児虐待対応 ・小児科外来へ継続看護について提示、検討	(院内) ・「子どもの権利」：東9A病棟新人看護師 ・「小児看護について」：ICU 看護師 ・CAPT 研修会 講師シンポジスト ・研究指導 (院外) ・市立看護専門学校 (第1・2看護学科) 「子どものアセスメント」(各2コマずつ) ・広島大学病院 「2025年度 小児看護に関する専門研修『基本コース』」講師(3日間) ・広島大学病院 「2025年度 小児看護に関する専門研修『アドバンスコース』」講師(3日間) ・日本小児看護学会 第35回学術集会 テーマセッション「病気や障がいをもつ子どもたちの生活、守られていますか?～子どもが“ありのまま”でいられる臨床実践について、みんなで考えよう～」ファシリテーター	・日本小児看護学会 第35回学術集会 (ポスター・筆頭者) 「医療的ケアが必要な子どもを受け入れる家族の様相に関する文献検討」 ・日本子ども虐待防止学会第31回学術集会はつかいどう大会 (口演・共同研究者、主研究者：小児救急CN 木下) 「迅速な情報共有で虐待を未然に防ぐための電子カルテシステムの構築」
相談	調整	倫理調整
・退院困難事例 ・在宅移行支援 ・介入困難 (看護ケア・移行期支援・意思決定・家族の心理的支援・家族関係など) 事例 ・児の医療ケア継続支援 ・虐待事例、CAPT 事例への介入 ・対応困難な家族への介入 ・在宅支援室から移行期支援・在宅療養につ	・在宅支援部門との連携 ・Ns と Dr の認識の違いについて ・他院転院症例、連携 ・訪問看護との連携(症状マネジメント・家族ケアなど) ・入所施設担当者と児・家族の希望・認識 ・児童相談所、子ども家庭センターと児・家族の状況、対応	・治療方針に関する意思決定 ・倫理カンファレンス ・育児困難、医療継続に不安事例に関する介入

いて

・成人移行した慢性疾患患者の在宅移行支援について

【実践報告】

子ども自身が入院中に治療の主體的に関われるよう直接介入をおこなった。慢性疾患・医療的ケアが必要な児が家庭で安全に安心して成長・発達できるよう、家族へ治療や在宅移行についての意思決定支援や育児支援・心理的サポートをおこなった。ピアサポートが受けられるよう調整もおこなった。継続して支援が受けられるよう、外来・地域との連携も図った。養育不安・虐待リスクがある家族の早期発見・介入、地域への連携をおこなった。上記がおこなえるよう、スタッフへ適宜問題提議し教育的視点も考慮し提示・助言・調整した。

分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
皮膚 排泄ケア (石橋) (西原) (妹尾)	1. ストーマ：外来、病棟での看護実践 2. 褥瘡回診・カンファレンス 3. 褥瘡ハイリスクケアラウンド 4. 瘻孔、創傷ケア、スキンケアの実践 5. 失禁ケア：失禁関連皮膚障害のスキンケア 6. 術後排便障害患者の看護、排尿ケアチーム活動 7. ストーマ造設予定患者への術前オリエンテーション（泌尿器科、外科）	1. 6月 新人研修「スキンケア」講師 2. 褥瘡研修会「褥瘡対策編」企画運営（6・10・2月） 3. 褥瘡リンクナース会企画運営（6・10・1・3月） 4. 6月排尿ケア全体研修会 5. 10月褥瘡研修会「ポジショニング」 6. 1月ケアワーカー研修2月褥瘡対策研修会「多職種連携」	1. 10月11月 中国ストーマリハビリテーション講習会	1. 病棟・外来スタッフからのスキンケアおよび創傷ケアについての相談 2. 訪問看護師からの相談（ストーマ・褥瘡） 3. 他職種からの相談（栄養士、リハビリ、薬剤師など）

実践報告

ストーマ外来は1274件／年、ストーマ造設患者に対してストーマケアの指導や、日常生活のアドバイスなど看護実践を行った。今年度から、外科および泌尿器科のICに同席し「がん患者指導管理料イ」の算定を開始した。11例に介入し、ストーマ造設術前の不安がある患者に対してストーマオリエンテーションを実施した。入院中の管理困難なストーマケアおよび瘻孔ケア、創傷ケア、スキンケアの実践を行うと共に病棟スタッフに教育を行った。毎週木曜日は皮膚科医師、褥瘡部会メンバーで褥瘡回診しており、多職種で協働し褥瘡ケアを行っている。褥瘡リンクナース会を開催し、院内の褥瘡ケアの向上を図った。排尿ケアマニュアルと褥瘡対策マニュアルの改訂を行った。褥瘡発生率が上昇しており、褥瘡の早期発見を目的に、ケアワーカーへの研修を看護補助者委員会と連携して教育活動を行った。

分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
救急看護 (笠井)	救命救急センターにおいて救急・重症患者の看護実践 RST ラウンド	ラダーⅡ研修講師 「急変予測と対応」「フィジカルアセスメント」 「ショック」 ラダーⅠ研修講師 「意識のフィジカル」「心肺蘇生」「臨床推論」 「バイタルサインの見方」 心不全看護シリーズ研修会講師 「症例を用いた心不全急性増悪の予兆」 心不全看護シリーズ研修会講師 「心不全とNPPV」 西9病棟研修	広島県看護協会 「新人ナース集合研修ー救急蘇生ー」 広島国際大学臨床講義 「救急医療体制」 「救急看護概論」	西9病棟より 急変予測の実践能力が向上できるよう研修会の企画、相談

		「急変予測」		
実践報告	救命救急センターにおいて、救急・重症患者の看護など救急看護の実践を行った。緊急入院や重症患者に対して、精神的危機的状況に陥っている患者本人や家族または患者を取り巻く人々に対して、精神的ケアを行った。実践を行うとともに、救急看護の質向上のための教育活動を行った。また、院内での急変対応の向上のため、ラダー委員会や RRS リンクナース研修会など利用して、教育活動を行った。心不全シリーズ研修を通して、心不全患者の急変予測や NPPV など急性期に使用する呼吸療法についての教育活動を行った			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
糖尿病看護 (中村)	1. 糖尿病教室運営 講義 2. フットケア外来 3. 糖尿病外来看護相談（生活指導、インスリン指導など） 4. 糖尿病教育入院患者への病棟訪問指導	1. 新人研修（4月） 2. 糖尿病療養指導部会研修会 企画運営（6月、10月、12月） 3. 糖尿病療養指導部会「糖尿病とステイグマ」講義	1. 広島市立看護専門学校第1・第2看護学科2年生「糖代謝異常のある患者への看護」	1. 糖尿病教育入院について 2. インスリンポンプ使用患者への支援について 3. 認知機能障害のある患者への支援について
実践報告	外来糖尿病患者に対し、インスリン指導 23 件、インスリンポンプ指導 2 件、フットケア 39 件など糖尿病看護を提供した。糖尿病教育入院患者について、病棟から依頼のあった患者や、自身でカルテから問題のある患者をピックアップし、病棟へ訪問し相談・指導を行った。糖尿病教室の年間受講者数は 74 名であった。院内・院外の研修・講義を実施し、糖尿病看護の基礎指導を行った。他部署・他職種からの糖尿病看護に関する相談に応じた。（件数・人数は 2026.2.12 現在）			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
新生児集中ケア (植田)	1. NICU・GCU におけるハイリスク新生児の看護実践・ファミリーセンタードケア 2. 産科、OP 室と初期ケア協議 ・ハイリスク児の受け入れについて 3. 退院支援 WG に参加し退院支援シートの活用を協議 4. 心疾患児の様々な場面での N2 療法導入 CE との連携 5. 小児緩和ケア導入の緩和ケアチームとの連携 6. 交換輸血実施手順の見直し 在宅移行支援シートの作成と活用	1. NICU・GCU の看護におけるレクチャー（皮膚湿潤中の HFNC の固定方法・ポジショニング・機器の管理） 2. 新人・新任へのオリエンテーション（フィジカルアセスメント・痛み・管理）	1) 国際大学助産学専攻科講義（5月） 「NICU とハイリスク新生児のケア」 2) 看護協会新人助産師集合研修（8月） 「新生児のフィジカルアセスメント」 3) リトルベビーハンドブック改定のためのチームに参加	WOC と皮膚保護（トラブル相談・ストマ・テープなど）
実践報告	NICU・GCU 内でのハイリスク新生児の看護に関する、質問やケア実践での相談に対応した。NICU での重症心不全児や肝不全児への小児緩和ケア導入を行うため、緩和ケアチームとの調整を行った。看護協会や大学での講義や実習受け入れを行った。保健センターからの依頼により、リトルベビーハンドブック改定のためのチームに参加した。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
集中ケア (貸川)	・生命の危機状態にある患者への看護実践 ・PICS に対するバンドル実践、病棟間連携の強化	・ラダー I 研修 「呼吸のフィジカルアセスメント」（6月） 「消化器のフィジカルアセスメント」（6月）	・市立看護専門学校第一看護学科（5月） ・市立看護専門学校第二看護学科（6月） 「高度侵襲下にある患者の看	1 ケア相談 ・人工呼吸器装着患者のケア ・NPPV 装着患者の口腔ケア ・NHF 装着患者のケアなど 14 件

	・特定行為実践を含めた看護ケア実践 ・RST ラウンド活動を通じた呼吸ケアに関連した看護実践 ・RRS 活動・要請対応 ・早期離床リハビリテーション加算 算定要件におけるテンプレート修正・カンファレンス開催 早期離床テンプレートを活用した統一したチーム実践	「BLS 研修」(10 月) ・IV ナース研修 「輸液の基礎、アナフィラキシー」(6 月) ・院内 ICLS 研修、インストラクター (8 月) ・「人工呼吸器の基礎」 5 A 病棟 ・「人工呼吸器の基礎」 西 9 病棟	護」 ・集中治療医学会 中四国多職種セミナー運営 多職種セミナー開催 (7 月) ・集中治療医学会 第 9 回中四国支部学術集会 PICS シンポジスト (7 月) ・集中治療医学会 中国四国連絡協議会 運営委員会活動 ・広島県看護協会 「フィジカルアセスメント研修 呼吸・循環」	
実践報告	実践では、HCU に入室する患者、家族に対して PICS を意識した看護介入に焦点をあて、患者の回復過程を見据えた病棟連携強化に取り組んだ。指導では、院内外からの講師要請に応じ、呼吸ケアやクリティカルケア看護に関する研修会の講師を務め看護師の知識・技術向上に寄与した。相談対応としては、各病棟からの依頼に応じ、人工呼吸器装着患者や NHF を含む酸素療法、呼吸ケアに関する相談に対応した。また院内 E ベッドシステムによる診療科の枠を超えた患者入室に伴い、受け入れ病棟スタッフの不安に対する助言や支援を行った。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
緩和ケア (井上) (角本) (西本) (信安)	1. 緩和ケア科外来での同席・看護実践 2. 緩和ケア同席・面談・浮腫外来での看護実践 3. がん相談支援センターでのがん相談対応 4. 緩和ケアチーム介入患者・家族への看護実践 5. カンファレンスの参加・開催 (チーム、退院支援、看護、倫理、デスカンファレンスなど)	1. 新人研修「看取りの看護」(9 月) 2. 緩和ケアリンクナース研修 (3 回) (6・10・2 月) 3. 院内認定緩和ケアナース育成コース (5 回) (5・10・11・2 月) 4. 緩和ケア研修会ファシリテーター (10 月) 5. エンゼルケアの勉強会 6. PCN フォローアップ研修会	1. 緩和ケアフォローアップ研修会ファシリテーター 2. 広島市立看護専門学校の講義 (一看、二看)	1. 病棟・外来看護師からのが んに関する相談 (緩和ケアについて・患者・家族のケアについて) 2. リンパ浮腫・エンゼルケア・メイクに関する相談
実践報告	症状マネジメントにおいては、緩和ケアチームとプライマリーチームで症状緩和について検討を重ねながら実践に取り組み、スタッフへの助言や指導も行った。また、倫理コンサルテーション開始となり、倫理 4 分割表を活用して倫理症例検討にも取り組んだ。緩和ケア外来では、患者指導、療養状況を確認しながら意思決定支援を行った。院内外への研修や講義も予定通りに企画・実践できた。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
小児 救急看護 (上甲) (木下)	1. CAPT 委員会・研修会主催 2. 「気になるシート改訂版」を活用した子ども虐待発生予防に向けたとりくみ (スクリーニングと多職種連携のシステム構築) 3. RST 部会 研修会主催 4. 在宅移行支援シートの作成と活用	1. 新生児 BLS 指導 PBLs・院内心停止後の対応 (PALS) について 2. 乳児・小児 BLS 指導 3. 先天性心疾患患児や医療的ケア児のご家族への BLS 指導 4. 不慮の事故で入院した児のご家族への事故予防指導 5. 小児のフィジカルアセスメント講義 (1 年生対象)	1. 広島大学小児専門研修 グループワークでのアドバイザー 2. 看護専門学校講義 (国際大学、呉医師会看護専門学校、市立看護専門学校、三次看護専門学校) 3. 地域在宅医療連携研修会実施 参加者 84 名	
実践報告	虐待予防・事故予防に関して、院内外での取り組みを継続している。 CAPT で対応している事例に対して、院内連携から地域連携まで途切れのない支援が行われるためのシステム構築 (チームカ			

	ルテ導入)を進め、11月日本子ども虐待防止学会で実践報告を行った。新生児期からの在宅移行支援シートの作成を促進し、テンプレート化を進めている。 広島県の小児看護に携わる看護師の看護実践へのアドバイスを継続的に行っており、本年も実施した。 退院指導の一環で、医療的ケア児やてんかんのある児のご家族へのBLS指導(他病棟も含む)を行った。指導プロトコールを中堅看護師に伝達し、育成を行っている。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
手術看護 (中西) (伊藤) (富永)	1.手術室・病棟における看護実践 脳外・パークベンチ体位見直し(皮膚排泄ケアCN協力) 2..術後疼痛管理チーム運用(対象病棟拡大) 3.手術期外来対象術式拡大	・手術室新人看護師オリエンテーション(4月) ・HCU/ICU術後疼痛加算拡大(5月) ・周術期外来担当スタッフ育成	・日本手術看護学会本部:davinci手術体位研修 ・日本手術看護学会:理事活動 ・日本手術看護学会中国地区学会開催	・術後疼痛患者の対応(コンサル) ・術中低体温防止の対応 ・PONV低減のための対応(呼吸器外科、婦人科) ・末梢漏れ症例減にむけた取り組み(心臓手術) ・カテ室でのICD埋め込み時の半側臥体位固定 ・カテ室でのPM挿入患者の清潔管理
実践報告	部署内での看護実践を通じて、実践のロールモデルとしてスタッフの手術看護の質の向上を図った。術後疼痛管理チームでは、対象病棟の拡大および部署内における担当スタッフメンバーの拡大育成に向けて体制を整備した。周術期外来の対象術式の拡大、担当スタッフの拡大育成を実施した。周術期看護の拡大充実に向けた他部署他職種との連携を強化できるよう調整した。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
感染管理 (多田) (竹内) (宮本)	1.医療関連感染など各種サーベイランス(SSI・VAE・CLA-BSI・耐性菌・手指衛生)の実施 2.感染リンクナース会運営(全6回実施) 3.感染防止対策地域連携加算に係る相互チェックラウンドの実施(広島県立病院) 4.感染対策向上加算に係る合同カンファレンス主催(全4回実施) 5.ICT院内環境チェックラウンド 6.ICT/AST抗菌薬適正使用チェックラウンド 7.ICT耐性菌ラウンド 耐性菌および重要な病原体検出時の対応	4月 新規採用職員研修 初期臨床研修医オリエンテーション IVナース研修 5月 ラダーI研修 11月 業務員研修	(訪問指導) ・広島市立リハビリテーション病院 ・梶川病院 ・きむら内科クリニック ・本通水田内科クリニック(講師) 9月 災害支援ナース養成研修 10月 国際医療福祉大学九州地区障害教育センター認定看護師教育課程(感染管理) 10月 災害支援ナース養成研修 11月 環境ワンヘルス研究会	4月～9月 院内170件 院外14件 10月～12月 院内85件 院外15件 1月～3月 院内107件 院外14件
実践報告	RPAを導入し、全病棟のデバイスサーベイランスを自動化した。従来は手作業で行っていた挿入、抜去データの抽出や集計を自動化することで、人的負担を軽減し、制度と即時性が向上した。本取り組みは感染対策業務のDX化の一環として、データに基づくリスク管理体制の強化とICT活動の効率的運営を実現し、業務の質向上と持続可能な体制構築に努めた。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
摂食・嚥下 (藤田) (尾門)	1.患者の間接訓練・直接訓練・食形態調整・体位調整 2.NSTラウンド(月1回:12回) 3.嚥下ラウンド(月4回 藤田・尾門で分担) ラウンド方法検討	・4月 新人研修「嚥下障害の基礎」「経管栄養」「口腔ケア」「食事介助法」 ・栄養委員会(藤田) 奇数月	・口腔ケア研究会ひろしま(尾門)世話人所属 ・訪問研修:山崎病院	・PHS,電話,クジラメールでの個別対応: ・患者のケア実践の内容や方法、食事形態やケア実践について: ・摂食機能療算法算定について:

	4. スクリーニング実施 (所属病棟) 5. SEK PHS の運用 6. SEK 部会 院内認定ナース会主催 5 月・2 月 (院内認定ナース対象) 7. 嚥下機能スクリーニング導入検討 (8. SEK 部会認定者の活躍の場を推進)	・SEK 部会 (藤田・尾門) 偶数月 嚥下ラウンド 毎週月曜日運営・参加 嚥下訓練、食形態調整、姿勢調整、摂食機能療法の指導 8 月 SEK 部会養成講座講師 「摂食・嚥下障害患者の看護」 ・実技研修指導者養成 (ポジショニング+食事介助) 5 月～2 月 部署毎ポジショニング研修 (講師: SEK 部会看護師+認定職員)		
実践報告	定した院外・院内研修会は全て実施した。昨年度と引き続き、山崎病院へ食事介助の方法の実践の研修会を行い、地域との連携を行った。 入院前から入院中に継続した看護ケアを目的に嚥下機能スクリーニング検査を導入するため、11 月からテンプレートを作成し、導入、修正を行ったため次年度は、導入予定。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
がん 化学療法 (加登岡) (秋元)	1. 病棟でのがん化学療法看護実践	6 月 院内がん薬物療法看護研修 1 月 がんセミナー「がん薬物療法時のアピランスケア」	9 月 広島市立看護専門学校第一看護学科、第 1 看護学科 2 年生 講義 10 月 広島市立看護専門学校第一看護学科、第 2 看護学科 2 年生 講義	1. 抗がん剤投与方法・順序についての相談 2. 抗がん剤投与時の曝露対策
実践報告	部署内での実践での指導、院内がん薬物療法部会研修や市立看護専門学校など指導を中心に活動を行った。がん薬物療法部会を中心に閉鎖式薬物移送システム(CSTD)の院内導入検討を行っている。操作性、曝露状況を検討して院内で周知していく。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
認知症看護 (大西)	1) 中 7 病棟に入院する認知症、精神疾患と共に生きる人に対する看護実践、せん妄予防ケアの実践 2) 認知症ケアチーム活動を通じた各部署での看護実践、認知機能評価、退院支援 3) リエゾンチーム活動を通じた看護実践、傾聴、共感、支持的対応、せん妄予防ケアの実践 4) 身体的拘束最小化チーム活動を通じた身体的拘束解除に向けたケアの実践	【OJT】 看護実践活動とチーム活動を通じた助言 【研修企画・講師】 新人看護師対象「認知症看護の基礎知識」講師 リエゾンリンクナース会講師 スキルアップ研修講師 リエゾン院内認定看護職員育成講習講師 身体的拘束に関する研修講師	6 月 9 日: 広島都市学園大学老年看護学講師 (90 分) 8 月・9 月: 看護職員対象認知症対応力向上研修講師・ファシリテーター (広島・福山) 11 月: 広島県看護協会中支部研修講師 12 月: 広島県医師会地域対策保健協議会主催 介護支援専門員対象認知症対応力向上研修講師・ファシリテーター	院内職員個別相談: 1 件 院外一般者、医療者相談対応: 1 件 意思決定支援相談: 1 件 身体拘束解除に向けた相談対応: 6 件

実践報告	病棟内での看護実践への指導, 相談対応を行った。認知機能障害が進行している肺がん患者のがん薬物療法の安全な実施と退院支援を行った。地域担当者(介護支援専門員, 訪問看護師)と連携を図り, 円滑な退院支援の実践を行った。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
精神科 (城崎)	1) 認知症ケアチーム活動における各部署での認知症ケア・BPSD 予防ケアの実践 2) リエゾンチーム活動における各部署でのせん妄予防ケア、せん妄ケア、自殺リスク対応、精神心理症状へのケア実践、 3) チーム活動を通じた身体的拘束解除に向けたケアの実践 ＊救急患者精神科継続支援対応 ＊DPAT 要請準備、対応	【OJT】 チーム活動を通して、看護実践に関する助言・指導 【研修企画・講師】 4 月 新人看護師対象「せん妄ケア」 6 月・9 月 新任者対象 メンタルヘルス研修 8 月 西 6 病棟学習会「興奮時の対応」 6 月・10 月・1 月 リエゾンリンクナース連絡会 11 月 自殺リスク対策研修 12 月 5A 病棟学習会「せん妄予防」 1 月 西 6 病棟学習会「精神保健福祉法」	5 月 日本精神科看護協会 認定活動実践について 7 月・11 月 広島市立看護専門学校(一看・二看)「リエゾン精神看護」	個別看護相談 ・認知機能障害対応相談 ・せん妄対応相談 ・精神疾患対応相談 ・意思決定支援相談 ・身体的拘束解除に向けた対応相談 ・メンタルヘルス相談
実践報告	精神科リエゾンチームと認知症ケアチームの専任看護師として、部署内のケアを承認しつつ、助言・提案を行った。また身体的拘束最小化に向けても、部署での対応を検討できるよう支援した。精神症状などで対応困難な時には個別に看護相談も受けるが、部署スタッフの実践力向上の機会にもなるよう、情報やアセスメントの共有を意識して対応した。リエゾン院内認定看護職員育成は計画通り実施した。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
慢性・心不全 (杉町) (山崎)	救命救急センター、東 5 A、東 5B 病棟に入院する、心不全患者へ看護実践を行い介入する。 1. 個別性のあるセルフケア指導 2. 症状緩和について 3. 終末期看護、意思決定支援について 4. 在宅療養支援(社会資源の活用) 5. 急性期心不全患者早期離床プログラム活用推進 6. 療養支援プログラム導入 7. 心不全患者栄養サポート	・ラダー I 研修「循環のフィジカルアセスメント」(6 月) ・スキルアップ研修「モニター心電図の基礎知識」(9 月) ・心不全看護シリーズ研修会 第 1 回 9 月 26 日(金)「モニター心電図で気をつけること」 担当: 山崎 第 2 回 10 月 31 日(金)「心不全ってなに?」 担当: 山崎 第 3 回 11 月 28 日(金)「心不全を起こす代表的疾患と治療・薬剤」 担当: 杉町 ・心不全多職種対象シリーズ研修会開催 企画・運営 ・心不全部会企画 1 月 30 日(金)「StageD 重症心不全患者の在宅支援」 2 月 6 日(金)「心不全診療ガイドライン改定のポイント」	9 月 26 日 川崎医療福祉大学 認定看護師教育課程 心不全分野 「症状マネジメント 不眠・睡眠障害 不安・抑うつ せん妄」 11 月 19 日～12 月 17 日 川崎医療福祉大学 認定看護師教育課程 心不全分野臨地実習指導	1. 東 5A 病棟 毎週水曜日多職種カンファレンスを開催し相談の機会とする。 2. ハートサポートチームにて、東 5A・5B 病棟をラウンド 毎週水曜日

		・ラダーⅡ研修 「キャリアアップ」(2月)		
実践報告	実践および相談は、日々の臨床、毎週水曜日にラウンド、多職種カンファレンスを通して実施できている。指導については、昨年度より開始した心不全看護シリーズ研修会に加え、新たに心不全多職種対象シリーズ研修会も開催し、両者ともに好評価を得た。シリーズ研修受講をきっかけに、心不全療養指導士資格にも関心を示されるようになり、資格取得者も増え、苦手意識の軽減につながっていると考え。研修を継続し、E ベッドシステムによる診療科でない病棟の受け入れが可能となるように支援していく。 今年度は、心不全看護の認定看護師教育課程の臨地実習を受け入れ、指導を行いながら日々の自分達の実践を見直す良い機会になった。引き続き、心不全看護の質向上に努めていく。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
クリティカルケア (上野) (平家)	・生命の危機状態にある患者への看護実践 ・特定行為実践 ・RRS 活動 ・RRS ラウンド ・RST ラウンド ・特定行為受講「PICC」「血ガス関連」 ・看護研究 集中治療医学会で口演	・新人研修「酸素療法」(4月) ・RRS リンクナース会 (11月) ・ICU 対象「くも膜下出血の看護」(8月) ・ICU 対象「頭蓋内圧亢進の看護」(9月) ・睦会研修会「災害について考える」(10月) ・スキルアップ研修「敗血症の予兆に気づき早期発見するために」(11月) ・救急外来対象「NPPV について」(12月)	・市立看護専門学校第一看護学科「クリティカルケア看護」 ・市立看護専門学校第二看護学科「救急看護」「災害」 ・中四国多職種セミナーファシリテーター ・第 21 回クリティカルケア看護学会学術集会フレッシューズセミナー「循環モニタリング」 ・集中ケア認定看護師会 特定行為委員会活動 ・広島県看護協会「新人 フィジカルアセスメント」 ・多施設研究 協力「ICU 患者における呼吸困難の有病率とリスク因子に関する多施設共同調査」	
実践報告	部署内で看護実践や特定行為実践を通して、スタッフとともに生命の危機状態にある患者への介入を行い、医療・看護の質向上に向けた取り組みを行った。また RST ラウンドを通して病棟対応を行った。RRS では対応側の質向上のため症例検討を実施し、院内では医療安全研修会での実践報告などの啓蒙活動を行った。また病棟スタッフとの連携を強くして RRS コールをしやすいするため、リンクナース会を開催した。今後もつなぐ看護を実践していく。			

認 定 看 護 師 活 動 実 績 (2025 年度)

【総括】

専門認定看護師役員会を定期的に開催し、専門・認定看護師の役割等を分野毎の専門性を互いに理解し協働することを意識し、看護の質向上を目指し看護実践活動を行った。

部会活動としては、研修部はスキルアップ研修の念 3 回実施し、機構内の各施設へも広報し WE B 参加者を募った。広報部で発行している CN だよりを発行し、全部署に配布。また、専門認定看護師個々のホームページの写真・活動を更新した。次年度は、DX 担当へ専門認定看護師の活動を Instagram にアップする予定である。

特定行為研修修了者は 7 名で、看護師特定行為研修部会で承認された行為について積極的に実施した。今後、認定看護師以外での特定行為看護師の増員の予定であり、どのように協働していくかが課題である。(文責・上田)

●2025 年度 教育活動（講師など）

	月	日	役割	内容	名前	主催
1	5	10	講師	「意思決定支援、つなぐ」	角本 こずえ	広島県緩和ケア認定看護師会
2	5	29	講師	精神科認定看護師を目指す方のための説明会	城崎 裕美	日本精神科看護協会
3	6 7 8	14 19 16	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	斉藤 志織	広島大学病院看護実践教育センター
4	7	19	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	木下笑香	広島大学病院看護実践教育センター
5	6	20	講師	新人ナース集合研修③看護実践に活かすフィジカルアセスメント	貸川雄介	広島県看護協会
6	7	2	講師	新人ナース集合研修④～救急蘇生	笠井有希	広島県看護協会
7	8	16	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	上甲貴江	広島大学病院看護実践教育センター
8	9 10 11	20 18 8	講師	小児看護に関する専門研修 「アドバンスコース」の指導、助言	斉藤志織	広島大学病院 看護実践教育研修センター
9	4.1～ 3.31 後		WEB 公開	「第 62 回日本手術看護学会中国地区ランチョンセミナー」 「医療機関等との関係の透明性に関する指針」	菌田 順 有福 彩子	株式会社ホギメディカル
10	10	17	講師	滅菌の原則と実際及び滅菌物の取り扱い 中央材料部門における洗浄・消毒・滅菌の実際 洗浄・消毒・滅菌が適切に行われるための事例検討	感染管理認定看護師 宮本 良	福岡国際医療福祉大学 生涯教育センター
11	6	21	講師	つくろう 周術期看護の味蕾～私がまもるべきもの（ランチョンセミナー）	手術室 菌田 順 有福 彩子	下関市生涯学習センター
12	8	4	講師	外来がん薬物療法における気づきとつながりの看護—スクリーニングと治療日誌による生活のサポート体制	秋元 敬子	小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
13	10	7	講師	災害支援ナース養成研修	多田 裕貴	広島県看護協会
14	9	26	講師	心不全患者の症状マネジメント	杉町 英子	川崎医療福祉大学 看護実践・キャリアサポートセンター
15	9	27	講師	救急蘇生法（初級コース）	笠井 有希	広島県看護協会 広島中支部

	月	日	役割	内容	名前	主催
16	9	27	講師	救急蘇生法（初級コース）	木谷 裕太	広島県看護協会 広島中支部
17	8	24	講師	「制服の重みと誇り～看護学生の私が、看護師になって気づいたこと～」	岡本 直也	広島都市学園大学 健康科学部
18	10 11	25 15	講師 ファシリ テーター	第 35 回中国スーマリハビリテーション講 習会	妹尾 友理恵	中国スーマリ ハビリテー ション講習会実 行委委員会
19	10	12	講師	第 35 回中国スーマリハビリテーション講 習会 「緩和スーマケア」	石橋 千代美	中国スーマリ ハビリテー ション講習会実 行委委員会
20	10	3	ディスカ ッサント	講演会「明日からの心不全連携を考える会」	杉町 英子	日本ベーリンガー インゲルハイム株式会社
21	10 10 11	11 12 25 15	講師	第 35 回中国スーマリハビリテーション講 習会	妹尾 友里恵	中国スーマリ ハビリテー ション講習会実行委 員会
22	10 10 11	11 25 15	講師	第 35 回中国スーマリハビリテーション講 習会	石橋 千代美	中国スーマリ ハビリテー ション講習会実行委 員会
23	11	29	講師	ワークショップ「みんなで考える環境表面への アプローチ/構造・形状・材質～現場のリアルな声がつなぐ最善の環境衛生を目指して Part2～」	宮本 良	滅菌・感染対策 研究会
24	12	13	講師	「身体拘束ゼロへの挑戦」～他職種がつなぐ 尊厳あるケア～	大西 奈緒	広島県看護協会 広島中支部
25	12	11	講師	「当院における術後疼痛管理に關しての現状 と課題」	富永 駿	テルモ株式会社
26	1	15	講師	第2回リスクマネージャー意見交換会 「身体拘束最小化に向けて」	樽本 久美子	広島県看護協会
27	2	13	講師	「バイタル医療機器連携システム導入による 期待される成果と今後の展望」	樽本 久美子	テルモ株式会社

2025 年度 広島市立看護専門学校 講師

28	4 4 5 5 6 6 7	17 24 22 29 5 26 3	講師	総合看護総論Ⅱ 看護管理（看護マネジメント）	瀬良栄子	広島市立看護専門 学校 第一看護学科 3 年生
29	5 5 5 6 6	1 8 15 12 19	講師	総合看護総論Ⅱ 看護管理（看護マネジメント）	新本 知子	広島市立看護専門 学校 第一看護学科 3 年生
30	5 6 6 10 10	28 11 18 8 15	講師	成人看護方法論Ⅲ・Ⅱ 代謝機能障害のある対象者の看護（糖尿病）	中村麻里子	広島市立看護専門 学校 第一看護学科 2 年生 第二看護学科 2 年生

31	5	13	講師	成人看護方法論Ⅰ 急激な生体侵襲により急性期にある対象者の看護 救急看護、クリティカルケア	貸川雄介	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
32	6	18	講師	成人看護方法論Ⅰ 急激な生体侵襲により急性期にある対象者の看護	貸川雄介	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
33	6 6	4 11	講師	医療安全論	宇野 久美	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
34	9	3	講師	小児看護方法論Ⅰ 子どものアセスメント	斉藤志織	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
35	10	22		小児看護方法論Ⅱ 子どものアセスメント	斉藤志織	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
36	9 10 10	24 1 8	講師	成人看護方法Ⅱ 身体防御機能障害のある対象者の看護（白血病・悪性リンパ腫）	加登岡紗矢佳	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
37	10	9 16		成人看護方法Ⅳ 身体防御機能障害のある対象者の看護（白血病・悪性リンパ腫）	加登岡紗矢佳	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
38	10 10 10 11	17 24 31 7	講師	統合看護総論Ⅰ 災害看護 救急法 救急看護	上野友香理 奥野和子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
39	9	17	講師	小児看護方法論Ⅰ プレパレーション	木下笑香	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生 第二看護学科 2年生
40	7 11	9 26	講師	精神看護総論 リエゾン精神看護	城崎裕美	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生 第二看護学科 2年生
41	9 10	30 7	講師	成人看護方法論Ⅳ 緩和ケアを受ける対象者への看護	井上 智恵	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
42	10	29	講師	成人看護方法論Ⅱ 緩和ケアを受ける対象者の看護	西本麻衣子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生

43	10 10	1 14	講師	小児看護方法論Ⅱ 医療的ケアが必要な新生児の看護	宮崎真希子	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2 年生 第二看護学科 2 年生
44	5	20	講師	成人看護方法論Ⅰ 急激な生体侵襲により急性期にある対象者の 看護	平家 歩美	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2 年生

学校名	分野	実習部署	のべ学生数
市立看護専門学校 第一看護学科	基礎看護学Ⅰ	西 9 病棟・東 5A 病棟・東 5B 病棟・東 7A 病棟・東 9B 病棟	2859
	基礎看護学Ⅱ	西 7 病棟・西 8 病棟・東 5A 病棟・東 5B 病棟・東 7A 病棟 東 9B 病棟	
	成人・老年看護学Ⅰ	東 7B 病棟・中央手術室	
	成人・老年看護学Ⅱ	西 5 病棟	
	成人・老年看護学Ⅲ	中 8 病棟	
	成人・老年看護学Ⅳ	西 7 病棟・東 6A 病棟	
	小児看護学	東 9A 病棟・小児科外来 総合周産期母子医療センター(新生児科)	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)(新生児科)・産科外来	
	統合看護学(医療連携)	医療支援センター	
	統合看護学	西 7 病棟・西 8 病棟・西 9 病棟・東 6A 病棟	
市立看護専門学校 第二看護学科	基礎看護学Ⅰ	東 7A 病棟・東 9B 病棟	1493
	基礎看護学Ⅱ	西 7 病棟・西 8 病棟・西 9 病棟・東 5A 病棟・ 東 5B 病棟・東 6B 病棟	
	成人看護学Ⅰ	西 8 病棟・東 6B 病棟・中央手術室	
	成人看護学(旧加)	東 6B 病棟・中央手術室	
	小児看護学	東 9A 病棟・小児科外来 総合周産期母子医療センター(新生児科)	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)(新生児科)・産科外来	
	統合看護学(クリティカル)	救命救急センター・救急外来	
	統合看護学	西 7 病棟・西 8 病棟・西 9 病棟・東 6A 病棟	
医師会看護専門学校医療 高等課程	成人・老年看護学	西 5 病棟・西 9 病棟・中 8 病棟・東 5B 病棟・東 6A 病棟・東 7A 病棟	1042
	小児看護学	東 9A 病棟	
広島県立広島皆実 高等学校 専攻科 衛生看護科	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)	18
日本赤十字 広島看護大学	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科・NICU)・産科外来	135
	小児看護学	東 9A 病棟、小児科外来	
広島国際大学 看護学部	小児看護学	東 9A 病棟	466
	統合看護学 (救急看護分野)	救急外来・救命救急センター	
	成人看護学Ⅰ	東 9B 病棟	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科・NICU)・産科外来	
	基礎看護学Ⅰ	中 7 病棟	
	基礎看護学Ⅱ	中 7 病棟	
広島国際大学 助産学専攻科	助産学実習Ⅰ	総合周産期母子医療センター(産科・新生児科)	68
	助産学実習Ⅱ・Ⅲ	総合周産期母子医療センター(産科・新生児科)・産科外来 小児科外来	
県立広島大学 助産学専攻科	助産学実習Ⅰ・Ⅱ	総合周産期母子医療センター(産科)・産科外来	146
安田女子大学 看護学部	成人看護学Ⅱ(R7 年～)	東 6B 病棟	214
	成人看護学Ⅲ	救命救急センター・手術室・救急外来	
	小児看護学	東 9A 病棟	
	在宅看護学	医療支援センター	

●令和 7 年度認定課程・特定行為研修受入学校・研修部署一覧

令和 8 年 3 月現在

学校名	分野	研修日	実習部署	学生数	のべ学生数
川崎医療福祉大学	心不全看護医分野 認定看護師教育課程 (B 課程)	2025 年 11 月 19 日～12 月 17 日 (20 日間)	救命救急センター	2 名	40